

支えよう、東北の仲間たちを！ みんなの絆と力で！

みやぎ支援センターニュース (ゆい) No.44

日本障害フォーラム（JDF）東日本大震災被災障害者総合対策本部

【2011年9月14日】

本部センター 仙台市青葉区五橋 2-12-2 電話：080-4373-6077 FAX：022-266-0292
東部センター 涌谷町本町 99-7 電話：0229-43-6639 FAX：0229-43-6685 メール：jdf.miyagi@gmail.com
北部センター 登米市東和町・若葉園内 電話：090-8349-9403 メール：jdf.miyagi.hokubu@gmail.com
ホームページ
<http://www.dinf.ne.jp/doc/JDF/index.html>

障害のある方との対話数 1524人

延べ支援員数 713人

9 / 1 4 現在

「木口ひょうご地域振興財団支援金を受け取りました」



オレンジキッズでの児童デイの活動の様子

オレンジキッズさんからおたより

3月11日に起きた東日本大震災、私たちは津波や余震に怯えながら、なにより恐怖に感じたのは、情報が入らない、外部との連絡が取れないことでした。そこで、頂いた支援金で携帯衛星電話を購入することにしました。自分たちの状況を的確に外部に伝えること、情報を収集することができるかどうか、被害を最小限に留める方法だということを実感したからです。

震災から半年が経ち、市内の瓦礫は片付きつつあります。沿岸部に墓標のように立ち並ぶ廃墟は、失ったものの多さを突き付けます。それぞれが抱える傷と向き合いながら「震災に負けない気仙沼」を市民みんなの手により創り上げていきたいと考えます。この度はご支援いただき、本当にありがとうございます。(オレンジキッズ 小原さん)



就労体験
(右)



仮設住宅への移動支援をしました



仮設住宅に荷物を運びこむ

石巻市内の避難所から仮設住宅へ移られる A さんの引越しが行われました。避難所での半年間は食事・入浴・トイレなど日常生活に関わる多くの事で制約を余儀なくされる事が多かったと思います。当日は天候にも恵まれ、避難所から荷物の搬出には同じ避難所で暮らしている多くの方々が手伝って下さいました。

移転先の仮設住宅内には大型の液晶 TV や全自動洗濯機・冷蔵庫などの真新しい家電が既に備え付けられており、A さん一家のこれからの新しい生活を待ちかねえているようでした。

あの大地震から半年が過ぎ、被災された方々の生活は新たなステップにさしかかっているようです。

(三宅 学 東京から)

支援のあしあと

私は、JDF の支援活動に 9 月 10 日から 9 月 17 日まで参加させていただいています。支援要請当初、正直「何をすればいいのか？」と不安だらけのスタートでした。

参加させていただいた 2 日目に震災からちょうど半年目の日で甚大な被害を受けた「女川漁港」を視察することになりました。震災での津波に埋もれたニュース映像でも何度も目にした漁港で半年を過ぎた現在でも、ビルの 5, 6F の高さまで海水があがってきたとはとても信じられない爪跡に言葉を失いました。「なぜ、こんな所に通常ありえない物があるのか？」等、驚かされることばかりで、自然災害の怖さを感じました。

JDF で出来ること!!」すべての支援団体の中で、私達が携わる事の中で、「避難所から仮設への移転への支援」を中心に、障害をもたれた被災者の方々への出来るだけのニーズにお応えしようと努めています。しかし、「こうして欲しいのに？」の現場の声に、私達支援員はどれだけ応える事が出来るのでしょうか？不安や、やるせなさを感じながらも、今、このときをしっかりと支援員⇄被災者の方と心から向きあい今の活動を続けて行きたいと思います。

(輪倉 徹 愛知から)



◆ 被災地派遣支援員を再募集！ ◆

○ 活動内容

支援員…訪問によるニーズの掘り起こし、ニーズへの対応 など

事務局員…電話相談、ニーズの調整・対応、会計、庶務、広報 など

○ 活動場所

みやぎ支援センター（遠田郡涌谷町）・みやぎ北部支援センター（登米市）

原則7～10 日間の支援期間が可能な方、ご連絡お待ちしております。080-4373-6077